

整理番号
187

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	観光諸費				担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち			担当係	観光振興係
施策項目	5	観光			計画期間	令和５年度 ～ 令和５年度
主な取組	1	既存観光資源の充実			事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業	
	1	7	1	4	観光諸費	

目的と方針【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。					
-------------	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	自然や歴史など本市固有の多彩な地域資源を活かした観光振興を推進し、市外から多くの人々と消費を市内へ引き込むため市内外・首都圏へPRします。					
------------	---	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市外からの来訪者	意図【PLAN】	関係・交流人口増加のため			
----------	----------	----------	--------------	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	来訪者受け入れ態勢の充実 観光PR					
----------------------	----------------------	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0				
	地方債	千円		0	0				
	その他	千円		0	22				
	一般財源	千円		15,739	21,069				
	事業費合計	千円		15,739	21,091				

(１) 伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
観光PR出展回数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	6	7	9	10	12
			実績値	29				
			達成率	100.0%				

(２) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	伊達市の知名度向上により観光誘客することで、関係・交流人口の増加を図り地域活性化につなげる必要があるため優先度は高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	観光PRだけでなく、市の公式SNSの登録者増加のためのPRも実施し、観光パンフレットだけでなくウェブからも市の魅力が確認できるよう努めた。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	今まで、観光ガイドブックの他に歴史観光ガイドマップやアウトドア施設の案内など複数あった観光関係のパンフレットを総合型観光ガイドブッカー冊に統合することで、コストの削減を図った。

(３) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	観光振興関係の予算として類似しているため「観光でにぎわう魅力づくり事業」へ統合する。
--------	----	-------------------------	--

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	道の駅管理運営事業					担当課	商工観光課
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	物産振興係
施策項目	5	観光				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	1	既存観光資源の充実				事業区分	指定管理
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	7	1	4	観光費		

目的と方針 【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	市内の特産品や観光情報を発信するとともに、交流人口の拡大を図るため、道の駅の適正な管理を行います。
----------------	---

対象 【PLAN】	道の駅を利用する人	意図 【PLAN】	魅力あふれる商品をそろえ、伊達市の新鮮でおいしい農産物や地域資源を生かした料理や加工品を求めるお客様でにぎわう。
--------------	-----------	--------------	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	指定管理者と定期的に意見交換を行い、魅力あふれる道の駅の運営につながる適正な管理を行っていく。また、地域の特性や資源を生かした商品づくりを進めるよう管理していく。
----------------------	---

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	22,300	13,128	0			
	その他	千円	1,700	2,591	1,700			
	一般財源	千円	38,227	63,254	73,757			
	事業費合計	千円	62,227	78,973	75,457			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達市産品を利用した加工 商品数	品	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	57	59	61	63	65
			実績値	60				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	交流人口を拡大するため、核となる道の駅の適正な運営管理の優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	道の駅の賑わいを創出するため、ここでしか買えない伊達市産品を利用した加工商品数増やしていくことは、魅力づくりに有効だと考えている。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	・ 道の駅の適正な管理運営のため、最小限の費用（指定管理料）で売り上げが上がるよう定期的なフェアやイベントを開催した。 ・ SNSなどを利用して費用を抑えた中で宣伝を行った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など ・ 指定管理者と定期的に協議を重ね、適正な管理運営を行った。 ・ 指定管理者の努力により、毎年新しい商品を展開し、陳列やポップも工夫するなどお客様ファーストで事業を展開した。 ・ 慢性的な駐車場不足が課題である。
------------	----	---

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	靈山地区観光用施設管理事業					担当課	靈山総合支所
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	地域総務係
施策項目	5	観光				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度
主な取組	1	既存観光資源の充実				事業区分	指定管理
予算科目	会計	款	項	目	大事業		
	1	7	1	4	靈山地区観光用施設管理業務（観光）		

目的と方針 【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	観光資源である霊山、茶臼山等の景観維持とその付属施設の維持管理を行う。令和5年度には霊山こどもの村キャンプ場・遊歩道・コテージ等の施設整備に係る工事を行います。
----------------	--

対象 【PLAN】	市民及び利用客	意図 【PLAN】	霊山や茶臼山等の景観維持と霊山地区にある観光施設の維持管理を目的とした事業
--------------	---------	--------------	---------------------------------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	令和5年度は、霊山こどもの村利用客の利便性の向上とさらなる誘客を目的とし、施設内のキャンプ場やコテージの整備を行った。
----------------------	---

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	0	0	0			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	22,484	62,474	0			
	一般財源	千円	3,464	4,822	4,544			
	事業費合計	千円	25,948	67,296	4,544			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
霊山こどもの村入場者数	人	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	27,000	33,000	34,000	35,000	35,000
			実績値	21,201				
			達成率	78.5%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか	伊達市観光の中心地として景観や施設の整備をしっかりと行うことで、本市に観光で訪れる皆様に満足いただけ、結果本市のPRにも繋がるため、事務事業の優先度高い。
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか	キャンプ場については、施設整備のため稼働率が下がったこともあり、十分な結果とはならなかった。コテージの整備も完成が年度末だったこともあり、事業の効果は上がらなかった。令和6年度以降これらの整備が来客数向上に繋がると考えている。
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	キャンプ場やコテージの整備については、敷地を広げることなく、施設内を有効に活用できるよう設計の段階から考慮した。修繕を除く施設の整備については、本年度で終了となる。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	霊山地区は観光施設や景観を保全する箇所が数多く、限られた予算の中で優先順位をつけ維持管理を行っていく必要がある。
--------	----	-------------------------	--

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	観光振興係			
施策項目	5	観光					計画期間	令和5年度　～　令和7年度			
主な取組	1	既存観光資源の充実					事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	7	1	4	観光物産振興事業						

目的と方針 【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	市内の自然景観や歴史的資源、宿泊施設などの既存施設を活かした観光誘客を図ります。
----------------	--

対象 【PLAN】	市外からの来訪者	意図 【PLAN】	関係・交流人口増加のため
--------------	----------	--------------	--------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	来訪者受け入れ態勢の充実 観光PR
----------------------	----------------------

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	4,250	0	2,278			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	240	240	342			
	一般財源	千円	42,911	65,173	63,097			
	事業費合計	千円	47,401	65,413	65,717			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
既存資源を活かしたイベント数	件	実績値が目標値	目標値	6	7	8	8	8
		以上と	実績値	5				
		なること	達成率	79.4%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。伊達市の観光資源を活かし、市内に誘客することで地域活性化につなげる必要があるため、優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	令和5年度より伊達氏ゆかりの公園「政宗にぎわい広場」で青空市場を開催し、850名の来場者があった。令和6年度は開催数を増やし効果向上を図る。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	政宗にぎわい広場での青空市場の実施について、PRやイベント実施について直営で実施することにより費用の削減に努めた。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	各地域の観光拠点からの回遊性促進のため、観光イベントの実施や新たな体験型観光商品を創出し地域活性化を図る必要がある。
--------	----	-------------------------	--

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業（再掲）					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	観光振興係			
施策項目	5	観光					計画期間	令和５年度　～　令和７年度			
主な取組	2	地域特性を活かした体験型の観光機能の強化					事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	7	1	4	観光物産振興事業						

目的と方針 【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	レンタサイクル事業や周遊手帳、霊山等の既存の体験型観光に加え関係人口・交流人口の拡大につながる新たな体験型観光機能を創出し、市内入込客数の増加を図ります。
----------------	---

対象 【PLAN】	市外からの来訪者	意図 【PLAN】	関係・交流人口増加のため
--------------	----------	--------------	--------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	来訪者受け入れ態勢の充実 観光PR
----------------------	----------------------

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	4,250	0	2,278			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	240	240	342			
	一般財源	千円	42,911	65,173	63,097			
	事業費合計	千円	47,401	65,413	65,717			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
入込客数	人	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	1,895,000	1,970,000	2,048,000	2,129,000	2,150,000
			実績値	2,038,972				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。伊達市の観光資源を活かし、市内に誘客することで地域活性化につなげる必要があるため、優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	基幹産業である農業を活かした体験型観光商品のモニターツアーの実施や阿武隈急行運転体験の実施など、今後の観光誘客促進の効果が期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	前年度の実績からレンタサイクルの冬期間運営を休止し、委託料の削減を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	観光諸費、福島市・相馬市・二本松市・伊達市観光圏事業を統合し、観光振興事業を総合的に実施していく。
--------	----	-------------------------	---

整理番号		192 事務事業評価表 令和5年度実施事業				部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	月館＋cycle推進事業				担当課	月館総合支所				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	地域総務係			
施策項目	5	観光				計画期間	令和5年度 ～ 令和7年度			
主な取組	2	地域特性を活かした体験型の観光機能の強化				事業区分	直営			
予算科目	会計	款	項	目	大事業					
	1	2	1	17	地域づくり支援事業費					
目的と方針【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。									
事業概要【PLAN】	・令和5年度は旧小手小学校の外構工事等を施工のため、本稼働は令和6年度からの予定。 ・サイクルツーリズムと自転車活用の推進及び、つきだて花工房など周辺施設の一体的な利用を促進しながら、都市と農村の交流を通して地域の活性化を図ります。									
対象【PLAN】	①サイクリスト ②市民				意図【PLAN】	①旧小手小学校簡易宿泊所がサイクルツーリズム及び、自転車活用推進の拠点となっている。 ②都市と農村の交流が活発となり、賑わいと集客を通して住民が生きがいを持って暮らしている。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	大学や高校、サイクリングクラブ等へSNSを活用したPRや情報発信を積極的に行う。また、地域活動が活発になるよう施設の有効活用を図り、地域の団体等とともにイベントを企画・開催していく。									
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度	
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)	
財源内訳	国庫支出金	千円		-	13,384	0				
	都道府県支出金	千円		-	0	0				
	地方債	千円		-	44,900	0				
	その他	千円		-	543	4,023				
	一般財源	千円		-	16,097	32,391				
	事業費合計	千円		-	74,924	36,414				
(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】										
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
施設利用者	人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,000	5,000	6,500	8,000	10,000		
			実績値	3,071						
			達成率	100.0%						
(2) チェック項目による評価【CHECK】										
	評価視点				評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				隣接する月館運動場や近隣のつきだて花工房と一体的に利活用することにより、市民のニーズ、社会的需要に対応できる。また、糠田地区の交流館要望に応え、旧小手小学校簡易宿泊所は糠田地区の地区交流館機能も有している。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				施設の目的として賑わいの創出がある。地域や活動団体等と協力することにより、事業効果は期待できる。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				施設の一部をつきだて振興公社の自主事業とすることにより、費用の縮小が図られた。					
(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】										
今後の方向性	拡充	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			つきだて振興公社では宿泊客に対するサービス拡充として、食事の提供を検討し準備を進めている。併せて、カフェ営業のランチ提供についても準備を進めており、どちらも令和6年4月からの営業を目指している。施設の平日の利用や冬期間の営業が課題である。施設の特徴を生かしたPR活動と普及活動が必要である。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業（再掲）					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	観光振興係			
施策項目	5	観光					計画期間	令和５年度　～　令和７年度			
主な取組	3	広域的な観光振興体制の充実					事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	7	1	4	観光物産振興事業						

目的と方針 【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	仙台バスツアーや姉妹都市との物産交流を図り広域的な観光振興を図ります。また、東北中央自動車道を活かした広域観光商品の開発を進めます。
----------------	---

対象 【PLAN】	市外からの来訪者	意図 【PLAN】	関係・交流人口増加のため
--------------	----------	--------------	--------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	来訪者受け入れ態勢の充実 観光PR
----------------------	----------------------

事業費【D0】		年度 単位	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
			(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	4,250	0	2,278			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	240	240	342			
	一般財源	千円	42,911	65,173	63,097			
	事業費合計	千円	47,401	65,413	65,717			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
他県でのPR回数	回	実績値が 目標値 以上と なること	目標値	3	4	4	4	4
			実績値	19				
			達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。姉妹・友好交流都市や伊達氏ゆかりの地、他県でのPRを積極的に実施し誘客することで地域活性化につなげる必要があるため、優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	基幹産業である農業を活かした体験型観光商品のモニターツアーの実施や阿武隈急行運転体験の実施など、今後の観光誘客促進の効果が期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	前年度の実績からレンタサイクルの冬期間運営を休止し、委託料の削減を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	観光諸費、福島市・相馬市・二本松市・伊達市観光圏事業を統合し、観光振興事業を総合的に実施していく。
------------	----	-------------------------	---

事務事業評価表

令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	福島市・相馬市・二本松市・伊達市観光圏整備事業					担当課	商工観光課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	観光振興係
施策項目	5	観光					計画期間	令和5年度　～　令和5年度
主な取組	3	広域的な観光振興体制の充実					事業区分	直営
予算科目	会計	款	項	目	大事業			
	7	7	1	4	観光物産振興事業			

目的と方針【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。						
事業概要【PLAN】	総合観光パンフレット、観光圏物産展の開催、教育旅行など観光物産プロモーションの共同企画を実施し、広域での観光誘客促進と観光消費拡大を図ります。						
対象【PLAN】	来訪者 市内事業者			意図【PLAN】	関係・交流人口増加のため 市内事業者の商品造成及び販売促進		

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	来訪者受け入れ態勢の充実 観光PR 意欲ある市内事業者の育成						
----------------------	--------------------------------------	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		0	0				
	都道府県支出金	千円		0	0				
	地方債	千円		0	0				
	その他	千円		0	0				
	一般財源	千円		1,077	1,189				
	事業費合計	千円		1,107	1,189				

(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】									
指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度	
隣接市町村との連携数	回	実績値が目標値以上となること	目標値	21	23	25	28	30	
			実績値	16					
			達成率	76.6%					

(２)チェック項目による評価【CHECK】									
	評価視点				評価の結果				
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか				道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。隣接市町村と連携した観光商品開発や教育旅行の招致により地域活性化を図る必要性があるため、社会的需要はある。				
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか				観光コンテンツ造成セミナー開催により、市内事業者のコンテンツ造成を実施したことで、来訪者の増加が期待できる。				
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか				人口割合による負担金の支出は主となるため、事務局試算による予算支出を行った。				

(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】									
今後の方向性	統合	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など		観光振興関係の予算として類似しているため「観光でにぎわう魅力づくり事業」へ統合する。					

事務事業評価表
令和5年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業（再掲）					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	観光振興係			
施策項目	5	観光					計画期間	令和５年度　～　令和７年度			
主な取組	4	観光案内機能の強化					事業区分	一部委託			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	7	1	4	観光物産振興事業						

目的と方針 【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。	
-------------------------	---	--

事業概要 【PLAN】	市内2箇所で観光案内所を運営しバスツアー、姉妹都市との物産交流、レンタサイクル事業、周遊手帳、霊山新緑・紅葉まつり、特産品PRを実施し関係人口・交流人口の拡大と地域経済の活性化に繋がります。
----------------	---

対象 【PLAN】	市外からの来訪者	意図 【PLAN】	関係・交流人口増加のため
--------------	----------	--------------	--------------

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	来訪者受け入れ態勢の充実 観光PR
----------------------	----------------------

事業費【D0】		年度	04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位	(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円	4,250	0	2,278			
	都道府県支出金	千円	0	0	0			
	地方債	千円	0	0	0			
	その他	千円	240	240	342			
	一般財源	千円	42,911	65,173	63,097			
事業費合計		千円	47,401	65,413	65,717			

(1) 伊達市第3次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
観光案内所利用件数	件	実績値が目標値	目標値	5,000	6,000	7,000	8,000	10,000
		以上と	実績値	13,309				
		なること	達成率	100.0%				

(2) チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。伊達市の観光資源を活かし、市内に誘客することで地域活性化につなげる必要があるため、優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	新型コロナウイルス感染拡大防止緩和により、観光案内所への問い合わせ件数も増加傾向にあり、今後、観光客数の増加が期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	前年度の実績から梁川・霊山のレンタサイクルを冬期間運営休止し、委託料の削減を図った。

(3) 今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の 方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	各地域の観光拠点からの回遊性促進のため、観光イベントの実施や新たな体験型観光商品を創出し地域活性化を図る必要がある。
------------	----	-------------------------	--

整理番号
196

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	道の駅管理運営事業（再掲）					担当課	商工観光課				
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち					担当係	物産振興係			
施策項目	5	観光					計画期間	令和５年度　～　令和７年度			
主な取組	4	観光案内機能の強化					事業区分	指定管理			
予算科目	会計	款	項	目	大事業						
	1	7	1	4	観光費						
目的と方針【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。										
事業概要【PLAN】	東北中央自動車道利用者に対し道の駅伊達の郷りょうぜんでの市内観光の案内、観光情報などの情報発信を行い、特産品PRを実施し関係人口・交流人口の拡大と地域経済の活性化に繋がります。										
対象【PLAN】	道の駅を利用する人					意図【PLAN】	道の駅に多くの人が訪れ、賑わい、道の駅を拠点に市内の観光周遊に広がり、関係人口と交流人口の創出と、地域経済の活性化につながっている。				
意図の実現のために必要なこと【PLAN】	伊達市の新鮮な農産物やここでしか買えない、食べられない商品開発などを通して、オンリーワンの道の駅づくりを行う。また、様々な企画やイベント等を開催し賑わいの創出と集客力の向上に努める。										
事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度		
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)		
財源内訳	国庫支出金	千円		0	0	0					
	都道府県支出金	千円		0	0	0					
	地方債	千円		22,300	13,128	0					
	その他	千円		1,700	2,591	1,700					
	一般財源	千円		38,227	63,254	73,757					
	事業費合計	千円		62,227	78,973	75,457					
(１)伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】											
指標名		単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度		
道の駅来場者数		人	実績値が目標値以上となること	目標値	1,350,000	1,400,000	1,440,000	1,470,000	1,500,000		
				実績値	1,400,000						
				達成率	100.0%						
(２)チェック項目による評価【CHECK】											
	評価視点					評価の結果					
必要性	・市民ニーズについてどうか ・社会的需要についてどうか ・事務事業の優先度については高いものであるか					市内周遊観光の拠点となるのが道の駅となることから、観光案内、観光情報の発信の優先度は高い。					
有効性	・施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・市民満足度についてはどうか ・社会貢献度についてはどうか					道の駅の来場者を増やすため、新鮮な農産物や、ここでしか買えない、食べられない商品開発を通してオンリーワンの道の駅づくりは有効だと考えている。					
効率性	・費用を抑える工夫は行ったか ・時間を削減する工夫は行ったか ・当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか					・道の駅の適正な管理運営のため、最小限の費用（指定管理料）で売り上げが上がるよう定期的なフェアやイベントを開催した。 ・SNSなどを利用して費用を抑えた中で宣伝を行った。					
(３)今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】											
今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など			・指定管理者と定期的に協議を重ね、適正な管理運営を行った。 ・指定管理者の努力により、オンリーワンの道の駅づくりに励み、定期的にフェアやイベントを展開し、集客アップに努めた。 ・慢性的な駐車場不足が課題である。						

整理番号
197

事務事業評価表
令和５年度実施事業

部 長	課 長	係 長	担当者

事業名	観光でにぎわう魅力づくり事業（再掲）				担当課	商工観光課	
基本目標	4	活力とにぎわいあふれる産業のまち				担当係	観光振興係
施策項目	5	観光				計画期間	令和５年度 ～ 令和７年度
主な取組	5	情報発信の強化				事業区分	全部委託
予算科目	会計	款	項	目	大 事 業		
	1	7	1	4	観光物産振興事業		

目的と方針【PLAN】	観光客の増加と観光から移住への展開に向け、観光資源の充実や地域特性を活かした体験型観光の展開、情報発信の強化などを進めます。						
-------------	--	--	--	--	--	--	--

事業概要【PLAN】	公式ホームページやＳＮＳ等による観光情報や物産情報の発信を行います。						
------------	------------------------------------	--	--	--	--	--	--

対象【PLAN】	市外からの来訪者	意図【PLAN】	関係・交流人口増加のため				
----------	----------	----------	--------------	--	--	--	--

意図の実現のために必要なこと【PLAN】	来訪者受け入れ態勢の充実 観光ＰＲ						
----------------------	----------------------	--	--	--	--	--	--

事業費【D0】		年度		04年度	05年度	06年度	07年度	08年度	09年度
		単位		(実績)	(実績)	(予算)	(予算)	(予算)	(予算)
財 源 内 訳	国庫支出金	千円		4,250	0	2,278			
	都道府県支出金	千円		0	0	0			
	地方債	千円		0	0	0			
	その他	千円		240	240	342			
	一般財源	千円		42,911	65,173	63,097			
	事業費合計	千円		47,401	65,413	65,717			

（１）伊達市第３次総合計画実施計画の「数値目標」の進捗に関する評価【D0】

指標名	単位	達成条件	区分	R5年度	R6年度	R7年度	R8年度	R9年度
伊達市観光情報ポータルサイト「だてめがね」へのアクセス数	件	実績値が目標値以上となること	目標値	82,000	86,000	91,000	96,000	100,000
			実績値	85,000				
			達成率	100.0%				

（２）チェック項目による評価【CHECK】

	評価視点	評価の結果
必要性	・ 市民ニーズについてどうか ・ 社会的需要についてどうか ・ 事務事業の優先度については高いものであるか	道の駅来場者だけでなく、今後予定されている大型商業施設開業により観光客の大幅な増加が見込める。ホームページやＳＮＳによる情報発信を積極的に行い、市内に誘客することで地域活性化につながる必要があるため、優先度は高い。
有効性	・ 施策項目の目標達成に向けた事業効果については期待できるか ・ 市民満足度についてはどうか ・ 社会貢献度についてはどうか	アクセス件数が増加傾向にあるため、ホームページやＳＮＳからの観光誘客が期待できる。
効率性	・ 費用を抑える工夫は行ったか ・ 時間を削減する工夫は行ったか ・ 当初の計画より規模を縮小できる余地はあったか	アクセス数の少ないページやチャンネルは、随時リニューアルしアクセス件数の増加に努めた。

（３）今後の方向性及び事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など【ACTION】

今後の方向性	維持	事業全体を通して評価できた点、課題や改善点など	現在のホームページやＳＮＳを見直し、効果的な情報発信を実施していく必要がある。
--------	----	-------------------------	---